

【近畿 ESD コンソーシアム・学生による ESD 活動支援】

奈良市立東市小学校野外活動支援 活動報告書

特別支援教育専修 4 回生 山本留維

1. 実施日 2023 年 10 月 26 日（木）
2. 場所 奈良市青少年野外活動センター
3. 参加者 教育学専修 4 回生 木下 結等 特別支援教育専修 4 回生 山本 留維
理科教育専修 4 回生 森田 望友 英語教育専修 4 回生 福西 隆生

4. 活動の概要

2023 年 10 月 26 日に奈良市青少年野外活動センターにて行われた、奈良市立東市小学校 5 年生の野外活動の支援のため、本学ユネスコクラブの学生が参加した。具体的には、オリエンテーリングや野外炊飯、キャンプファイヤーの補助、スタンプを実施した。

5. 参加学生の学び・感想

今回の野外活動支援で感じたことや考えたことは 2 つある。

1 つ目はトラブルが起きたときの対応である。野外炊飯の際に児童同士でトラブルが起きてしまった。その際うまく対処することが出来ず、野外活動という非日常的な場面だからこそいつもより一層気をつけて、考えながら行動する必要があると感じた。

2 つ目は子どもたちの可能性についてである。事前指導でスタンプを見せてもらった時、子どもたち自身はそこまで乗り気ではなかった。そのため当日までかなり心配していたが、本番が始まると、ほとんどの子どもたちが一生懸命自分の役割をこなしており、練習してきた成果が現れていた。改めて子どもたちの無限の可能性を感じることが出来た。
(教育学専修 4 回生 木下 結等)

今回の野外活動支援では、オリエンテーリングや自由時間に子どもたちとセンターや道に生えている植物やキノコ、虫などについて話すことができ、野外活動ならではの気づきや考えを持たせることができた。子どもたちは普段経験できないことを楽しんでいたように思う。反省点としては、一緒に参加した学生と活動開始前に慌てて話し合うことが多かった。私が野外活動支援に不慣れなため、すべきことや注意点を詳しく確認する必要があったのもあるが、全ての活動において、自分たちが何をしたらいいのか把握しきれていなかったことが、一番の原因だと思う。事前に把握すべきことを整理しなおして、野外活動支援に誰が参加しても十分に支援できるような体制を整えたい。

(特別支援教育専修 4 回生 山本 留維)

今回の野外活動支援の 1 日を通して、子どもたちの短期間での成長に驚いた。事前にスタンプを見せてもらった時、恥ずかしさが残っていたり、班の中でも分裂があったりしており、本番が不安になった。しかし、本番のスタンプではしっかりと皆が協力して楽しんでた。またピザ作りや野外炊飯も、少しトラブルがありながらも、無事に終わることが出来た。このクラスは、学校ではない自由な空間でも、

最終的にやりきることができるクラスだと感じた。この経験を学校生活にも活かして、立派な6年生に向けてのスタートを切って欲しいと感じた。
(理科教育専修 4 回生 森田 望友)

今回の良かった点と反省すべき点は大きく2つある。

良かったところは、子どもたちの成長についてだ。全4回に渡って事前指導を行ってきたが、最終回の指導でも未完成のグループが見られた。引率の先生方はもちろん、なにより子どもたちが不安がっているように思われた。しかし当日、全員が堂々と発表し、周囲もそれにのせられて大いに盛り上がることができた。

反省点としては自分の視野が狭くなっていたことだ。フィールドワークの際、班員とはぐれている子がいたにも関わらず、複数のグループが固まって行動していたため、人数確認が甘いまま行動させてしまった。自分の担当ポイントにおける役割にかまけ、全体のための引率がうまくできていなかったことが反省として挙げられる。
(英語教育専修 4 回生 福西 隆生)



図1 ピザづくりの様子



図2 オリエンテーリング中の様子